

2018年9月21日

## 1 本市における健都まちづくりの目指す方向性について

○松本議員

順位に基づきまして質問をさせていただきます。

まず、西日本豪雨及び台風21号等の一連の災害において被災された方々にお見舞い申し上げます。

それでは、質問をさせていただきます。

まず、本市における健都まちづくりの目指す方向性についてですが、12月に市立吹田市民病院がJR岸辺駅前に開院します。着々とハード面が進む健都を本市は積極的に活用するとの認識ですが、本市における健都のまちづくりの目指す具体的な方向性についてお聞かせください。

（略）

○藤浦雅彦議長

それでは、答弁をお願いします。保健福祉部理事。

（平井保健福祉部理事 登壇）

○平井保健福祉部理事

本市における健都のまちづくりの目指す方向性についてのご質問にお答えいたします。

健都におきましては、国立循環器病研究センターの移転を見据え、世界をリードする医療クラスターの形成や、循環器病の予防と制圧の拠点として、効果的な予防医療の確立に向けた健康・医療のまちづくりを進めているところでございます。

この取り組みを進めていく上で、本市としましては、健都を中心に、健康づくりと医療イノベーションの好循環の創出による健康寿命の延伸をリードするまちづくりを効果的、効率的に市域全体に広げていくことが重要となっております。そのためにも、循環器病をはじめとする生活習慣病の予防や健康づくりに関する先進的なモデル地域に発展させるとともに、地域の経済活動を牽引できる医療クラスターの形成にふさわしい事業者を健都イノベーションパークに誘致し、市内産業の活性化につなげてまいりたいと考えております。

（略）

○藤浦雅彦議長

松本議員。

○松本暁彦議員

これ以降は一問一答形式でお願いいたします。

本市における健都のまちづくりの目指す方向性についてですが、健康の先進モデル地域に発展させ、健康寿命の延伸をリードするまちづくりを市域全体に広げることと理解しました。

そこで、その方向性を核として、健都まちづくりの全国への情報発信が重要であると思いますが、どうお考えかお聞かせください。

○藤浦雅彦議長

保健福祉部理事。

○平井保健福祉部理事

健都のまちづくりの情報発信についてのご質問にお答えいたします。

健康と医療の核となる国立循環器病研究センター及び健都イノベーションパークへの移転が決定しております国立健康・栄養研究所とも連携・協力し、健都ならではの健康寿命の延伸及び関連産業の振興に資する取り組みを一層進めていくことが、健都の魅力、ひいては摂津市全体の魅力を高めていくものと考えております。これらの取り組みを通じまして、健都のまちづくりが全国的に認知されるよう、各事業主体や関係者間の密な連携のもと、効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

○藤浦雅彦議長

松本議員。

○松本暁彦議員

全国情報発信については理解いたしました。各関係機関もさることながら、しっかりと本市の広報とも連携し、具体化するよう要望します。

健都については、国、国立循環器病研究センター、国立健康・栄養研究所、大阪府、吹田市、そして本市の総合的な健都まちづくりに邁進するのはさることながら、本市全域にもその成果を得られるよう、先ほどの本市としての方向性を核とし、オール摂津として各施策と連携していただくよう、また、市民や企業等々の協力を得られるように情報共有に留意していただくよう要望いたします。